

上田西 守り勝ち 決勝進出

第105回全国高等学校野球選手権記念長野大会準決勝



号外

号外
発行
2023年7月26日
上田西高校会
新聞委員会
編集局
編集局長：嶋田 晴佳
新聞委員長：樋口 華
水出 楓香
金井 茉優
レイアウト：樋口 華

戦評

2年連続で準決勝に進出した上田西が初のベスト4入りを果たし勢いに乗る日本ウェルネス長野と対戦した。上田西の先発は今大会2試合目の登

板となる服部朝矢(進学3年II高杜)。抜群の安定感を誇る左のエースは初回から安定した投球をでウェルネス打線につける隙を与えず、被安打3、与四死球1、8奪三振で完封勝利。

打っては4回裏、3番横山聖哉(進学3年II上田第四)の二塁打をきっかけに2点を先制すると6回にも追加点をあげそのまま逃げ切った。上田西は決勝進出は5年ぶり。(水出 楓香)

服部完封

準決勝で先登を任せられた左腕の服部は9回を投げ被安打3、無失点で完封した。

前回登板した塩尻志学館戦では変化球の制球が乱れる場面もあったがこの日はコントロールもよく安定感抜群のピッチングを見せた。ウェルネス打線の中核を担うプロ

ウェルネス打線を寄せ付けず

注目のドラフト候補杉浦やここまで3本塁打の4番三原田に対しては「インコースとアウトコースの使い分けを意識しつつ、ストライクゾーンの四つ角を狙い上手く投げ

る。変化球に手を出して貫えれば「ラッキー」と開き直り勝負。打線の中心となつている2人を見事に封じた。

準決勝では、服部の完封により滝沢一樹(進学3年II上田第二)やエースの権田成也(進学3年II赤穂)を温存することができた。試合間隔が短く消耗の激しい夏の戦いにおいて次の決勝戦に戦力を残せたことはプラスの要素でありチームへの大きな貢献と言えるだろう。(水出 楓香)

決勝戦展望

僅差の試合に持ちこめるか

上田西は27日(木)8年ぶりの夏の甲子園出場をめざし、松商学園と決勝戦を戦う。松商学園は準決勝で11得点をあげるなど打線が好調。先発が濃厚な上田西のエース権田が、この強力打線を相手に失点を抑えられるかがポイントになりそうだ。好投手も揃う松商学園から大量得点を奪うことは容易ではないため、先制

点をあげ試合の主導権を握り「守り勝つ」ことが目標になるだろう。失点しても2、3点差以内で抑えられれば勝機はあるはずだ。松商学園は準決勝で3時間の激戦の末に勝ち上がった。第一シードで日程的にも余裕のあった上田西が体力面では優位に立っている。(水出 楓香)



準決勝日本ウェルネス長野戦 被安打3、与四死球1、奪三振8で完封勝利を挙げた服部

日本ウェルネス長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上田西	0	0	0	2	0	1	0	0	×	3	

第105回全国高等学校野球選手権記念長野大会 準決勝スターティングメンバー

1	中村 太軌	3年	伊那東部
2	黒岩 大都	3年	高山
3	横山 聖哉	3年	上田第四
4	小林 遼太郎	3年	丸子
5	片平 結絆	3年	丸子北
6	木次 志颯	3年	東御東部
7	岩下 俊輔	2年	緑ヶ丘
8	井出 涼太	3年	長野北部
9	服部 朝矢	3年	高杜

記録員 高田 健太郎
責任教師：大塚 雅也 監督：吉崎 琢朗